文字と 式

x	1	2
y	3	6

x

ステップ 0／8　図解

図解　**場面 → x と y の 意味 → 表 → 式 → 数を 入れて 確かめる。**

x や y は「まだ 決まって いない 数」の かわりに 使う 文字。□ や ○ と 同じ はたらき。

1 変わる 量を 文字で 表す

1本 70円の えんぴつを 何本か 買う。　買う 本数は 変わる。その 代金も 変わる。

変わる 量を 文字で 表す　→　**x**＝買う 本数（本）、**y**＝代金（円）　と 決める。

文字には **何の 量か**と **単位**を はっきり させる。

2 表から 式へ

x 本	1	2	3	4	5
y 円	70	140	210	280	350

どの 列も 70×本数＝代金。

同じ 関係を 式に すると

70×x＝y

3 文字に 数を 入れる

x＝6 → **70×6＝420** → **y＝420**　6本 買うと 代金は 420円。

x に 入れた 数を **x の 値**、その ときの 答えを **y の 値** と いう。式を 読むと「何を 求める 式か」が わかる。

4 y の 値から x の 値を 求める

70×x＝490

代金が 490円 なら、本数は？

70を かけて 490に なる 数だから、**x＝490÷70＝7**。

確かめ：70×7＝490 で、合って いる。

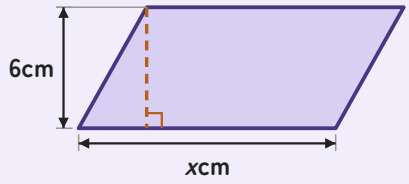
5 いろいろな 式

ふえない 数が ある 場面

1こ 80円の パンを x こと、150円の ジュース。

代金は **80×x＋150**。

x＝5 → 400＋150＝550円



図形の 公式でも

底辺 x cm、高さ 6cmの 平行四辺形の 面積は **x×6**

6 気を つけよう

- 文字の x は、かけ算の × と 区別できるように 丸みを つけて 書く。
- **x×3** を「x3」や、x＝9 の とき「93」と しない。
- 式が 正しいかは、**2つ以上の 数**を 入れて 確かめる（1つだけでは 決められない）。
- 答えの 数が **何の 量か、単位は 何か**を 場面に もどって 読む。

おわったら ○を つけよう　◯ できた！　◯ もういちど！